

PMDA(医薬品医療機器総合機構)の理念の策定に当たって

このたび、PMDAの理念を策定、公表することといたしました。

私は、2008年4月にPMDAの理事長に就任しました。就任に際して、人間の「命と健康を守る」という世界共通の使命を果たすために、より有効で、より安全な医薬品や医療機器を、より早く、世界の人々に届けるために、全PMDAの職員と一丸となって取り組もうと、決意を新たにしました。

PMDAは、世界の審査機関と協調し、「日本のPMDA」から「世界のPMDA」へ、卓越したイニシアティブを発揮して堂々と行動することができるよう、大きくその視界を広げていかなければなりません。

国民や、医薬品、医療機器に関わる皆さんとともに、この目標に向かって道を切り拓くために、私たちの使命を、皆さんに明確にお伝えするとともに、PMDAの職員が、心を一つにして、この目標に向かって日々邁進する誓いとして、この理念を定めました。

この理念が、私たち職員を統合(Integration)する共通の「行動理念」として機能し、職員一人ひとりが、高い倫理観をもって、よりその能力を発揮することを通じて、組織全体として社会に貢献し、同時に、PMDAが国民の信頼を得られる組織として発展して参りたいと思います。

今般、この理念を策定するに当たっては、職員一人ひとりの仕事にかける思いと、「行動理念」がうまく同調することが不可欠と考え、策定の過程において、役職員が十分議論を重ねて参りました。この結実としてのこの理念の下、私たちPMDAの役職員は、専門家としての自信を持つと同時に、決して謙虚さを失うことなく、医薬品、医療機器の安全性・有効性の確保に最善の努力を重ね、我が国、そして全世界の保健の向上に貢献していく決意です。

平成20年9月

PMDA(医薬品医療機器総合機構) 理事長 近藤 達也

PMDAの理念

わたしたちは、以下の行動理念のもと、医薬品、医療機器等の審査及び安全対策、並びに健康被害救済の三業務を公正に遂行し、国民の健康・安全の向上に積極的に貢献します。

- ¶ 国民の命と健康を守るという絶対的な使命感に基づき、医療の進歩を目指して、判断の遅滞なく、高い透明性の下で業務を遂行します。
- ¶ より有効で、より安全な医薬品・医療機器をより早く医療現場に届けることにより、患者にとっての希望の架け橋となるよう努めます。
- ¶ 最新の専門知識と叡智をもった人材を育みながら、その力を結集して、有効性、安全性について科学的視点での的確な判断を行います。
- ¶ 国際調和を推進し、積極的に世界に向かって期待される役割を果たします。
- ¶ 過去の多くの教訓を生かし、社会に信頼される事業運営を行います。